

## 窓口負担割合の見直しについて

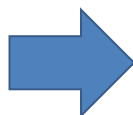
### 1 概要

令和4年以降、団塊の世代が後期高齢者となり始め、医療費の増大が見込まれています。後期高齢者の医療費のうち、窓口負担を除いて約4割は現役世代の負担（支援金）となっており、今後も拡大していく見通しとなっています。

そのため、現役世代の負担を抑え、国民皆保険を維持していくため、後期高齢者の窓口負担割合について、一定以上の所得がある方は、令和4年10月1日から2割負担となります。

【現在】

区分	医療費負担割合
現役並み所得者	3割
一般所得者	1割



【令和4年10月1日～】

区分	医療費負担割合
現役並み所得者	3割
一定以上 所得のある方	2割
一般所得者	1割

### 2 対象となる方

#### (1) 対象者（3割負担の方を除く）

住民税課税所得が28万円以上かつ「年金収入＋その他の合計所得金額」が200万円以上（※）の方が2割負担となります。

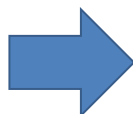
※ 単身世帯の場合。複数世帯の場合は、320万円以上。

#### (2) 埼玉県の状態

被保険者数：1,004,664人（令和4年6月末現在）

【現在】

医療費負担割合	被保険者数
3割負担	80,881人 (約8%)
1割負担	923,783人 (約92%)



【令和4年10月1日～】（見込）

医療費負担割合	被保険者数
3割負担	約8万人 (約8%)
2割負担	約24万人 (約24%)
1割負担	約69万人 (約68%)

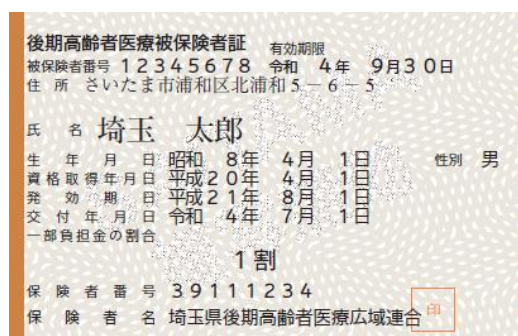
### 3 負担を抑える配慮措置

- 2割負担となる方について、令和4年10月1日から令和7年9月30日までの施行後3年間は、1か月の外来医療の窓口負担割合の引き上げに伴う負担増加額が3,000円までに抑えられます。（入院の医療費は対象外です。）
- 配慮措置の適用で払い戻しとなる方には、高額療養費として、事前に登録されている高額療養費の口座へ後日払い戻されます。  
（口座が登録されていない方には、9月末頃に広域連合から高額療養費支給事前申請書を送付します。）

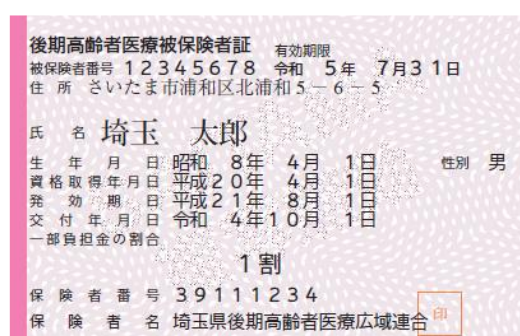
### 4 被保険者証の交付について

例年の7月の被保険者証の年次一斉更新に加え、令和4年度においては、制度改正に伴い、被保険者証を再度交付します。

年次一斉更新は7月中旬頃までに、再交付（2回目交付）時は9月中旬頃までに各市町村から順次発送します。



（令和4年9月30日まで）【茶色】



（令和4年10月1日から）【ピンク色】

### 5 周知・広報について

#### （1）被保険者証（年次更新・再交付時）にリーフレットを同封

年次更新時の被保険者証送付に当たり、全被保険者に国がひな形を作成したリーフレットを同封しました。

また、再交付（2回目交付）時には、2割対象者には国がひな形を作成したリーフレットを、1割・3割の方には当広域連合独自のリーフレットを同封予定です。

#### （2）国が作成する周知広報用のポスター及びリーフレットの配付

再交付（2回目交付）に先立ち、国が作成する窓口負担割合の見直しに関するポスター及びリーフレットについて、8月中を目途に医療機関や高齢者関係施設等へ配付することを予定しています。

※ 当広域連合が例年作成している被保険者証の更新広報ポスターについても、再交付（２回目交付）の内容を掲載し、既に医師会・歯科医師会・薬剤師会の御協力のもと、各会員機関へ配付しています。

### （３）コールセンターの設置

国（厚生労働省）では、今回の制度改革の背景等に関する質問等に対応するため、窓口負担割合に関するコールセンターを令和４年１月から設置しています。また、当広域連合においても、令和４年５月１０日からコールセンターを設置しました。

- 国（厚生労働省コールセンター）：０１２０－００２－７１９  
（令和４年１月４日～令和５年３月末まで（予定） ９時～１８時 月～土曜日）
- 埼玉県後期高齢者医療広域連合：０１２０－０８５－９５０  
（令和４年５月１０日～１１月３０日 ８時３０分～１７時１５分 土日祝日除く）

### （４）その他

広域連合や市町村のホームページのほか、市町村広報紙において関係記事を掲載し、周知広報を図っています。

## ６ 国からの財政支援

今回の窓口負担割合の見直しに係る周知広報経費及び被保険者証の再交付に係る経費等については、原則として全額、国から交付されます。